

新関脇でどのような相撲を見せるか注目されたが、初日に烏帽子岳を速攻相撲で寄り切り、二日目は鉄甲を、三日目は鹿乃丸を、四日目は鹿乃丸を、五日目は鹿乃丸を、六日目は鹿乃丸を、七日目は鹿乃丸を、八日目は鹿乃丸を、九日目は鹿乃丸を、十日目は鹿乃丸を、十一日目は鹿乃丸を、十二日目は鹿乃丸を、十三日目は鹿乃丸を、十四日目は鹿乃丸を、十五日目は鹿乃丸を、十六日目は鹿乃丸を、十七日目は鹿乃丸を、十八日目は鹿乃丸を、十九日目は鹿乃丸を、二十日目は鹿乃丸を、二十一日目は鹿乃丸を、二十二日目は鹿乃丸を、二十三日目は鹿乃丸を、二十四日目は鹿乃丸を、二十五日目は鹿乃丸を、二十六日目は鹿乃丸を、二十七日目は鹿乃丸を、二十八日目は鹿乃丸を、二十九日目は鹿乃丸を、三十日目は鹿乃丸を、三十一日目は鹿乃丸を、三十二日目は鹿乃丸を、三十三日目は鹿乃丸を、三十四日目は鹿乃丸を、三十五日目は鹿乃丸を、三十六日目は鹿乃丸を、三十七日目は鹿乃丸を、三十八日目は鹿乃丸を、三十九日目は鹿乃丸を、四十日目は鹿乃丸を、四十一日目は鹿乃丸を、四十二日目は鹿乃丸を、四十三日目は鹿乃丸を、四十四日目は鹿乃丸を、四十五日目は鹿乃丸を、四十六日目は鹿乃丸を、四十七日目は鹿乃丸を、四十八日目は鹿乃丸を、四十九日目は鹿乃丸を、五十日目は鹿乃丸を、五十一日目は鹿乃丸を、五十二日目は鹿乃丸を、五十三日目は鹿乃丸を、五十四日目は鹿乃丸を、五十五日目は鹿乃丸を、五十六日目は鹿乃丸を、五十七日目は鹿乃丸を、五十八日目は鹿乃丸を、五十九日目は鹿乃丸を、六十日目は鹿乃丸を、六十一日目は鹿乃丸を、六十二日目は鹿乃丸を、六十三日目は鹿乃丸を、六十四日目は鹿乃丸を、六十五日目は鹿乃丸を、六十六日目は鹿乃丸を、六十七日目は鹿乃丸を、六十八日目は鹿乃丸を、六十九日目は鹿乃丸を、七十日目は鹿乃丸を、七十一日目は鹿乃丸を、七十二日目は鹿乃丸を、七十三日目は鹿乃丸を、七十四日目は鹿乃丸を、七十五日目は鹿乃丸を、七十六日目は鹿乃丸を、七十七日目は鹿乃丸を、七十八日目は鹿乃丸を、七十九日目は鹿乃丸を、八十日目は鹿乃丸を、八十一日目は鹿乃丸を、八十二日目は鹿乃丸を、八十三日目は鹿乃丸を、八十四日目は鹿乃丸を、八十五日目は鹿乃丸を、八十六日目は鹿乃丸を、八十七日目は鹿乃丸を、八十八日目は鹿乃丸を、八十九日目は鹿乃丸を、九十日目は鹿乃丸を、九十一日目は鹿乃丸を、九十二日目は鹿乃丸を、九十三日目は鹿乃丸を、九十四日目は鹿乃丸を、九十五日目は鹿乃丸を、九十六日目は鹿乃丸を、九十七日目は鹿乃丸を、九十八日目は鹿乃丸を、九十九日目は鹿乃丸を、百日目は鹿乃丸を、

先場所、千秋楽に勝ち越して関脇を維持した出羽翼。幕内力士9人を数える勝間田部屋の実力者。ここで成績を残して大関への足がかりをつくりたいところ。しかし、二日目に烏帽子岳に勝つたものの、初日に白閃光、三日目に佐賀ノ海と大関経験者の2人に敗れ、1勝2敗と黒星先行のスタートとなった。



佐賀海○(上手投げ)●若 巨



出羽翼●(寄り切り)○佐賀海



鹿富士○(寄り切り)●若 巨



鹿富士○(寄り切り)●鉄 甲

磯ノ海親方のスマホが衝撃的な瞬間を捉えた。二日目の龍不動対超刃の一番。立ち合い直ぐに龍不動が超刃を吊り上げたかと思いつた。決まり手は「吊り落とした」。釣り上げた瞬間の貴重な画像がこちら。

衝撃映像 豪快吊り落とし



白閃光●(引き落とし)○綱乃花

羽翼を押し出して3連勝と好発進した。多彩な相撲で全盛期を彷彿とさせる相撲をみせ、今場所の台風の目とさせる相撲をみせ、



魁 電●(寄り切り)○綱乃花



初日からスタートダッシュも期待した桐壺親方もこれは計算外。結果は鼻をくじかれた結果になってしまった。しかし、二、三日目は勝ち着きを取り戻して連勝で白星を先行させた。



桃乃洲○(寄り切り)●角武蔵



徳富士○(寄り倒し)●磯 燕

館内の観衆も徳ノ富士がどういう相撲を見せるのか、土俵を見つめる中、立ち合いからは鹿乃丸。不意をつかれた徳ノ富士は何とか残そうとするがそのまま黒房下に寄り切った。鹿乃丸が勝利。予想外の展開に「あら、勝っちゃったよ」と鹿乃丸の戸親方。敗れた徳ノ富士は緊張もあったのか、防戦一方となり完敗。



徳富士●(寄り切り)○鹿麒麟

十両注目目の徳富士は2勝7敗。今場所の注目は西十両尻に付け出された徳ノ富士。先場所引退した美空富士の逸材者として桐壺親方が大いに期待をかけるのだから、場所前の稽古が大部屋の横綱春ノ翔や麻縄部屋の魁電、その他の力士にも互角の相撲を見せるなど、新十両での優勝も視野に稽古も万全とのこと。後援会の期待も背負いつつ千秋楽まで一心に注目を集めよう。

紙相撲を盛り上げるためには、地方在住の親方、大関では住之江親方、秋月親方と久しぶりの再会、紙相撲談議に花が咲いた。



6月の東北行脚に続き、今月は関西に旅立った朝日松理事。方、大阪では住之江親方、秋月親方と久しぶりの再会、紙相撲談議に花が咲いた。

朝日松理事長関西漫遊

もう一人の駒波は三日目体重差のある蛮国に押し倒しを決めるなど、四股名の通り波に乗って行けるか四日目の相撲にも期待が持たれるところだ。



櫻吹雪○(押し倒し)●黒雲海

上位では東筆頭に座った若雲山が2勝1敗。はまずまずのスタート。今場所黒雲海が十両に陥落したが、入れ替わりで今度は若雲山が幕内の座を掴むことができれば、親方の期待も日増しに膨らんでいる。



剣 将●(寄り切り)○若雲山